

# 豊川信金が国府高校で出前授業 金融トラブルを防ぐために



高校生がお金の大切さについて学んだ

豊川信用金庫 (真田光彦理事長) は、金融トラブルに巻き込まれないための正しい知識を身に付けるため、国府高等学校で出前授業「高校生金融講座」を実施した。同講座は、総合ビジネス学科の2

年生29人を対象に、地域貢献活動の一環としてSDGs(持続可能な開発目標)の目標(質の高い教育をみんなに)に該当する取り組みとなる。

同金庫職員が講師を務め、お金の「借りる」と「金融トラブル」をテーマに、契約に対する自覚と責任を持つことの大切さ、自分の収入と生活に合わせ計画的に借り入れることの大切さ、金融トラブルの事例とトラブルの回避及び対処などについて考えた。

第1部は、クレジットカードの仕組みと注意点を議論。借金シミュレーターを使って、お金を「借りる」注意点について生徒が討論した。

第2部では、金融トラブルの具体的な事例について、トラブルを避けるにはどうしたら良いか、トラブルに遭ってしまった場合の対処法について学んだ。

今年4月の民法改正により、成年年齢が20歳から18歳に引き下げられ、法的に親権者の同意なしで一部の契約行為や借り入れが認められた。

同金庫の高校生金融講座では、これまでの内容を更に、単独で可能となる「借りる」とや契約に伴う金融トラブルに焦点を当てたものに変え、豊川市及び新城市の高校生を対象に各校に出向いて講座を開催している。(原田直樹)